

はなしである。と感かんじました。

なせならば、はじめにも申もうした通り、いろんなことを問とひたすのは、子供こどもの天性てんせいです。そうして。問とひだして答こたへてもらふたびに、何かしら知りませう。大人おとなでも、知らないことを人に問とうて、その人が親切しんせつにこたへてくれましたならば、それで何かおぼえるではありませんか。ほんとうに、物事ものごとを問とふといふことは、物事ものごとを知る源もとになるものでございませう。何なにを見聞みきしても、なにであるか、なせであるか。といふやうな疑うたがひを起おこさぬ人はどかく進すすまないものでございませう。ですから子供こどもには、ものを問とふ習慣くせいを、求もとめてもつけてやりたいのです、ところが都合ごうごよく、子供こどもは、よく何かを問とひたすやうにうまれついてをります。

ですから、子供こどもが何かたづねましたならば、大人おとなは、よろこんで答こたへてやらなければなりません。決けつして、

家庭 阿母あはさんこれ何 此こゝ

うるさいとか、やかましいとか言いつて、子供こどもの心こゝろをくじいてはなりません。できるだけ、子供こども相應おういに、よく分わかるやうに、答こたへてやるのが肝心かんじんでございませう。もしました、はなしでもとても分わからぬことならば、今はまだはなしをあけても分わからぬ。大きくなつたら分わかる。と言いひきかせば、それがよい答こたでございませう。ほんとうに似にたやうなうそで、ごまかした答こたをするのは、まことにいけません。

梓弓すしきうはるの山やまべを越こえくれば

道みちもまりあへず花はなぞちりける

此こゝ 心こゝろ

漆うるし 生なま

入いり相告あひつぐる山寺やまでらの鐘かねの響ひびきは、鎮守ちんじゆの森もりにゆらぎ渡わたりて、時ときに急いそぐ暮鴉くれからすは早はやや巢すこもりたらむ頃ころ、終日ひねり働はたらき

たりし田圃より出で、妻なるは迎かへに來りし年頃十四五の娘の脊より三つばかりなる幼兒を抱き下して、之に乳のませながら、二人の鍬を束ねて肩にせる夫に従ひて、子守半天を抱えたる娘を伴ひて、歸り行く路の側の家屋の、瓦の屋根の軒の間に營める雀の巢の中に「ジュウ〜」と幼き雛の聲するに、今まで母の乳房にすがりて餘念なかりし幼兒の、忽ち耳そばだて、母なるに、

あれは誰の聲よ

と尋ねられしに

雀の子の鳴くのよ

と可愛げにさどせば、幼兒も亦心地よげに

雀の子はお母さんに抱かれて乳よ〜といふのであ

らふ

なを語りつぎて、更に雀の聲の聞えずなりしに心付き

て

あゝ、もう止まつた、寐ねした、雀のお母さんも小さい子も寒からふ、風の吹くのに蒲團もなしにどきれ〜に語るあどけなきふし〜、後れ行く余の耳には強く止まりぬ、名聞には縁遠き片山里の農夫々々と呼ばれても、その家庭の暖さの一斑、此兒の詞にても推しはかられて、よその見る目にもゆかしくもまたたのもしかりき。

市中を、どりわけて夕暮に、往き交ふ人は見もし聞きもしするならむ、鶏肉屋の店頭にて、怪しげなる籠の中より鶏の、羽ももげよとつかみ出されて、凄まじき叫も瞬く間に押しつぶされて、謂ふに忍びざる有様となり果つるを、やさしき人は眼そむけ耳ふさぎて行き過ぐるならむ、或日余は見るとはなしに、凄絶き叫に心ひかれて、驚けり、屠夫の差し出せる手にぶら下

りて身をもがく鶏の側に、一人の子守娘の立てるに、更に驚けり、其子守の脊より女兒の四歳ばかりなるが楓の如き手さしのばして、なぐさみに、半ば氣絶せる半ば裸にせられたる鶏の尾羽を引張り居れる其光景に。不快を感ずる人達も慣れば慣る、淺猿さに恐しや無心の此幼兒の行末の。

職業に貴賤なし、とはいふもの、幼兒の爲には家庭の人々の心懸こそ、と余は彼此限りなき感想の止めかねしものありき。

文は後に横さしだす使いな

今 いろいろは料理

石井泰次郎寄稿

(ろ) 六角玉子の拵へやう

玉子の宜敷を撰みて、鍋に水を張りて玉子をいれて

家庭 此心 いろいろは料理

初より箸にてかきまはしながら煮ぬくべし。煮抜ときかく動かし居る時は、黄味は片よらずして、真中にあるなり。又煮抜たる玉子の出来上りを見わくる方法は、金杓子か網杓子にてすくひて、湯より鍋の外に取上て見れば、直ちに皮の水氣の乾くが湯煮の出来上りたるにて。乾くことの、直でない時は、未だ出来ぬものなりと、是が見別かたなり。かくて上のからをとり扱からを取たる玉子を、布巾にてつゝみて、六方より、板の細きものをあて、堅くしめて六角をなすべし。又玉子を煮抜て殻を去りて、白味の中より庖丁にて、切めぐらして二ツになし、中の黄味を出して、黄味と白味と別々にして、先白味の方へ、先砂糖の上品をませて、鹽少しを入れて、馬尾篩にて、裏漉とて、馬尾篩の裏にのせて、木杓子にて押して漉すべし、次に黄味の方も砂糖の同じ品をませて馬尾篩にて裏漉をして、